

水俣港の重要

港湾指定へ

中村市長が陳情

上京中の中村水俣市長らは十七日運輸当局に三十年春以来、毎年強く陳情している水俣港の重要港湾指定を重ねて要望した。この運動は三十一年から始まった水俣港の修築計画暨作成を皮切りに水路島灯台の建設、海図の発刊、修築工事施工と続き、昨年には港口の中の瀬橋灯台浮標や荷役機械の増設、給水施設の整備としいに港としての面目を施してきたがそれでもまだまだ。しかも九州西回り沖縄定期航路の寄港地として外航船の入港は三十年十二隻、三十一年二十五隻、三十二年七十隻、三十

三年百隻とワナギ上り。内航船にしても延べトン数は益々増加、最近急に重要港湾としての実績が上っているというもの。(東京支社)